

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和6年10月17日
事業者名:	株式会社大清

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	・自然工法管理士資格者の設計により自然生態系の保全・復元を推進 ・木材運搬・作業道の整備等森林保全に関する事業活動の推進 ・太陽光パネルの設置による再生可能エネルギーの活用 ・建設廃棄物の分別の徹底とリサイクルの推進	⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに, ⑩住 み続けられるまちづくり を, ⑬気候変動に具体的 な対策を	2023年度に太陽光パネル・蓄 電池を設置した。	指標	二酸化炭素排出量
				目標	2030年度までに2023年度比42%以上 の削減を達成する。
社会	・地元出身者の積極的な採用により地域の雇用創 出に貢献。 ・地域事業への協賛、下呂市への寄付の実施。 ・地元事業者の優先的利用による地域経済への貢 献。 ・災害発生時の復旧作業や除雪作業等事業を通し た地域社会への貢献。	⑧働きがいも経済成長も , ⑩住み続けられるまち づくりを, ⑬気候変動に 具体的な対策を	地元出身者の在籍年数の平均 : 約12年	指標	地元出身者の定着率
				目標	2030年度までに地元出身者の定着 率を2023年度比で約16年以上に引 き上げる。
経済	・豊富な実績で培われた技術力を活かし、質の高 い施工を実施 ・新たな技術を随時取り入れ、自社の施工技術を 常にアップデート ・ICT技術の活用により生産性の向上を実現し 、高品質のサービスを提供 ・紫外線劣化に強く強度の高いオリジナルの耐候 性大型土のうの提供	⑧働きがいも経済成長も , ⑨産業と技術革新の基 盤をつくろう, ⑩住み続 けられるまちづくりを	2023年度に電子タイムカード システムを導入し、従業員の 労働時間数の管理を迅速に数 値化できるようにした。	指標	従業員一人あたりの月平均時間外 勤務の削減率
				目標	2030年度までに2024年度比で従業 員一人あたりの月平均時間外勤務 を月5時間削減

ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> ・重点項目について事務所内に掲示し、社内共有を実施している。 ・社内の定期会議において進捗状況の把握と共有を行い、事業の改善策の検討材料にしている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 SDGs宣言の記載ページのURL : https://k-daisei.co.jp/information/sdgs/